

4 防風林の整備

(1) 防風・防潮林整備の重要性

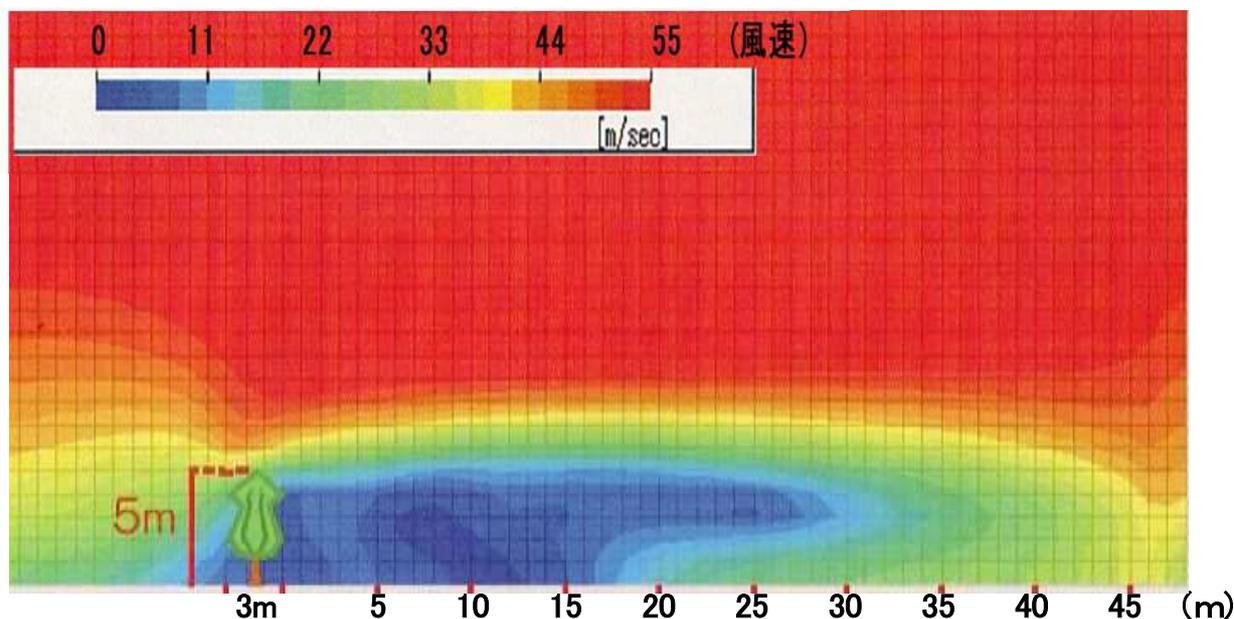
沖縄地方は亜熱帯海洋性の気候であり、周年温暖な気候特性を生かした野菜、花き、熱帯果樹、さとうきびなどの多様な作物が生産されています。一方で、台風常襲地帯でもあり、強風や潮害による農作物及び農業用施設への被害が恒常的に発生しております。

そこで、台風に左右されずに、安心して生産に取り組めるようにするための環境づくりが求められており、そのための具体的な対応策として防風・防潮林を整備していくことが重要となります。

防風林の有効性は経験的にも、科学的にも証明されています。効果が発揮されるまでには時間が必要ですが、地道に継続して取り組むことが大切です。

(2) 防風・防潮林の効果

防風効果の検証(シミュレーション)



上の図は、高さが5mの防風林が幅3mの林帯として整備されていた場合に、風速50m/秒の減風効果をシミュレーションしたものです。

濃い青色の部分が、防風林帯の効果により風速11m/秒以下に減風される範囲を示しています。また、概ね木の高さの10倍程度は減風効果があることがわかります。

資料提供：沖縄県農業研究センター 農業システム開発班

(3) 防風・防潮林の効果の実際

① 施設被害軽減効果



これまで、台風被害とは無縁と考えられていた大型鉄骨ハウスであっても、猛烈な台風が襲来すると倒壊する場合があります。

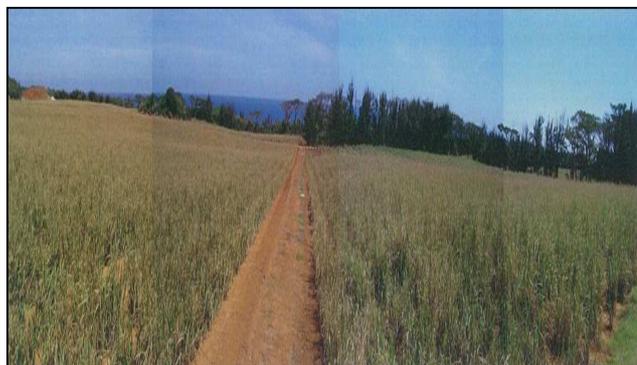


大型鉄骨ハウスでも倒壊被害が発生した猛烈な台風ですが、防風林が整備されていたことにより、パイプハウスでも被害を免れた例がありました。

② 防潮林による潮害軽減効果



防潮林が整備されていないと潮害が発生し、さとうきびの減収が起きます。



防潮林が無い場所

潮害の被害が大きい

防潮林がある場所

潮害の被害が小さい

③ 防風林・防風垣の基本的な設置方法

(A) 樹種選定について

樹種は、風や潮に強いのは勿論ですが、防風林の場合は寿命が長く、病害虫の被害を受け難いものを、防風垣の場合は生長が早く、病害虫の被害を受け難く、また更新が容易に行えるものを選びましょう。なかなかこれらの条件をすべて満足させるような樹種は難しいですが、それぞれの目的に応じてできるだけ満足するように選定する必要があります。

県内の防風林、防風垣によく使われる代表的な樹種の特徴(表1)と写真を次頁以降に掲載します。

(B) 種子の選び方

- ・ 種子は、完熟した果実から播種しましょう。
- ・ 種子によっては、発芽しやすいよう、前もって処理を行いましょう(水に浸す、種皮に傷をつけるなど)。

(C) 苗木の植え方

- ・ 苗木は根の活着や、その後の生育が良好な2年苗で樹高30cm程度の健全な苗木を選びましょう。
- ・ 植える時期に注意しましょう(旧暦の10月頃が適しているといわれています)。
- ・ 植え付け間隔は、中～高木75cm～1m程度、低木50cm程度が望ましい。根や枝が触れ合って密生して壁をつくることで、強風に耐えられます。
- ・ 苗木の植え付け後は、根の活着を促すためしっかり土を踏み固めましょう。
- ・ 植え付け後は、必ず十分にかん水しましょう。

(D) 健全な樹の育て方

- ・ 苗木を植え付けた後は、倒伏させないよう保護支柱をつけ、風が強い場所は防風ネットを設置しましょう。
- ・ 苗木の生長を妨げる雑草を定期的に刈り払いましょう。
- ・ 木の生長を助けるため肥料をほどこしましょう。

(E) 防風林の配置について

台風時は、一晩で財産(農作物や農業施設)が吹き飛んでしまいます。不規則な向きの暴風から圃場を守るには、圃場を囲むように木を植えることが最も効果的です。

その場合、圃場内の日照を遮るなど作物の生育に影響を与えないように防風林帯(6mほど)を十分確保するように心がけましょう。とくにH鋼ハウス等を防風林(垣)で囲む場合は、ハウス内の日照を十分確保できるように配置しましょう。

また、複数の樹種を組み合わせることで防風効果をさらに高めることができます。

防風林は、自らの財産を守るものであることから、各自で木を植えるのが原則ですが、地域の一体的な防風効果を図るため、土地改良事業でも、圃場を囲むような防風林の設置を進めています。

表1 防風林、防風垣によく使われる代表的な樹種・特徴

植物名	防風施設の種類	耐風性	耐潮性	成長度合	土壌適応性			育ちやすい環境	最高樹高(m)	特徴など	備考
					酸性土	アルカリ	砂地				
アカテツ	林	◎	◎	○	○	○		陽	15～21	潮・風に極めて強い。根が浅根性である。	
イスノキ	林	◎	○	○	○	○		陽	10～15	潮風にやや弱い、強風には極めて強い。また、陽樹であるが陰地にも耐え、環境適応性が大きい。	
イヌマキ	林	◎	○	○	○	○		陰	10～15	潮風にやや弱い、強風には極めて強い。キオビエダシヤクの発生があるので注意。	
オオハマボウ	林	○	◎	○	○	○	○	陽	5～10	耐潮・耐風性強い。樹冠の広がり大きいので畑地へ影響を与えないように植栽する。極端な乾燥地以外は良く生育する。	
キョウチクトウ	林	◎	○	○	△	○	○	陽	3～5	特に土壌は選ばないが、石灰岩質土壌で生育良い。日当たりを好み、樹勢が強い。	
クロヨナ	林	◎	○	○	○	○	○	陽	10～14	潮風にやや弱い、強風には極めて強い。根粒菌を持つため土壌適応性が広く、成長が早い。	
サキシマハマボウ	林	◎	◎	○	△	○	○	陽	5～10	耐潮・耐風性強く海岸近くの植栽に適する。	
ソウシジュ	林	○	○	○	○	○		陽	10～15	生長が早く、樹冠の広がり大きいので下層木を被圧したり農作物に影響を及ぼす恐れがあるので気をつける。根粒菌を持つので土壌を選ばない。	
テリハボク	林	◎	◎	○	△	○	○	陽	15～20	潮・風に極めて強い。低温に弱い傾向があるため、本島で用いる場合は冬季の寒風が直接当たる場所では気をつける。	
ハスノハギリ	林	◎	◎	○	△	○	○	陽	10～15	耐潮・耐風性強く海岸近くの植栽に適する。石灰岩質土壌で生育良い。	
フクギ	林	◎	◎	△	△	○	○	陽	15～20	潮・風に極めて強い。生長が遅いが、成林すれば恒久樹種として申し分ない。	
ホルトノキ	林	◎	○	△	△	○	○	陽	10～15	耐風性強いが潮風にやや弱い。陽樹であるが、陰地でも生育可能。適応性広いが特に石灰岩質土壌を好む。	
モクタチバナ	林	○	○	△	○	○		陽	5～10	耐潮・耐風性に強く、海岸近くから植栽可能。石灰岩質土壌で生育良い。さほど枝葉が密生しないので、弱剪定を行い節間長を短くする必要がある。	

植物名	防風施設の種類	耐風性	耐潮性	成長度合	土壌適応性			育ちやすい環境	最高樹高(m)	特徴など	備考
					酸性土	アルカリ	砂地				
リュキュウ ココタン	林	◎	◎	△	○	○		陽	10～15	生長はやや遅いが、耐潮・耐風性の強い樹種。寒乾風により枝下がりを起こしやすいので、孤立木にならないように注意する。	
サンゴジュ	両方	○	○	◎	△	○		陰	3～10	庭木、生垣、防風、防火林で使用されている。サンゴ石灰岩地帯でも良く生長する。種子は取りまきにする。	
アカリファ	垣	○	△	○	○	○		陽	2～4	耐潮風性がやや弱く内陸部での植栽に適する。アオドウガネの棲息場所にならないよう注意する。	
イトバショウ	垣	○	◎	◎	○	○		陽	3～5	防風垣や芭蕉布に用いられる。バナナセリの被害には要注意である。	
クサトベラ	垣	◎	◎	○	△	○	○	陽	2～3	耐潮・耐風性極めて強く海岸最前線の植栽に適する。石灰岩質土壌に適する。	
クロトン	垣	○	△	○	○	○		陽	2～3	耐潮風性がやや弱く内陸部での植栽に適する。風当たりの強くない箇所では景観を兼ねての植栽に良い。	
ゲットウ	垣	○	○	◎	○	○		陽	2～3	陽樹であるが日陰にも耐える。炭素病の伝染源となり得るのでマンゴーハウス周辺の植栽には注意。	
千年木	垣	○	○	◎	△	○		陽	3	半日陰の排水良好な場所によく生長する。萌芽力が強い。	
ネズミモチ	垣	◎	◎	◎	△	○	○	陰	2～4	耐潮・耐風性強く海岸近くの植栽に適する。陰樹であるが陽地でも良く育つ。萌芽力強く強剪定に耐える。	
ハイビスカス	垣	○	○	◎	○	○		陽	3～5	耐潮・耐風性強く、特に土壌も選ばない。挿し木で容易に増やせ、扱いやすい樹種である。炭素病の伝染源となり得るのでマンゴーハウス周辺の植栽には注意。	
マサキ	垣	◎	◎	○	△	○		陽	2～4	耐潮・耐風性強く海岸近くの植栽に適する。陽樹であるが、陰地にも耐える。季節風にも極めて強い。	
モンパノキ	垣	◎	◎	○	△	○	○	陽	3～5	耐潮・耐風性が極めて強く海岸最前線の植栽に適する。樹冠の形状が美しく景観的にも良い。	
ヤドリフカノキ	垣	○	○	◎	○	○		陽	4～6	陽樹であるが陰地でも良く育つ。樹冠が乱れやすい。環境適応力強く、植栽、管理とも非常に容易な樹木である。	

防風林・防風垣の設置事例写真



フクギ (名護市)



フクギ (石垣市)



イスノキ(全景) (本部町具志堅)



テリハボク (宮古島市)



イスノキ (東村川田)



イスノキ (東村川田)



イヌマキ (うるま市)



リュウキュウコクタン (今帰仁村崎山)



サンゴジュ (宜野座村松田)



ヤドリフカノキ (恩納村前兼久)



イトバショウ (金武町宇謝)



ブツウゲ(ハイビスカス) (石垣市)



千年木 (本部町具志堅)



千年木 (石垣市)



千年木 (東村川田)



ゲットウ (宜野座村松田)

④ 各作物における防風林(垣)設置事例

(A) さとうきび



さとうきび圃場における防風林の設置



さとうきび圃場における防風林の設置

(B) 花き



ヘリコニア圃場におけるブッソウゲの設置
(石垣市)



花き(ジンジャー)平張施設での防風垣の
設置状況(石垣市)

(C) 果樹



かんきつ圃場におけるイヌマキの設置状況
(うるま市石川)

(D) 野菜



野菜圃場におけるゲットウによる防風垣
(八重瀬町)

(4) 「防風林の日」について

沖縄県は台風の常襲地帯であり、島しょ性地域のため自然災害に影響されやすく強風や潮害による農作物や農業用施設等への被害が大きいことから、防風・防潮林の整備を加速させる必要があります。平成18年11月、県は「沖縄県防災農業推進会議」を設置し、また11月第4木曜日を「防風林の日」と定め、植樹大会や講演会、防災農業賞の表彰等防風林に関連する行事を行い、防風・防潮林についての普及啓発に取り組んでいます。



「防風林の日」

沖縄県防災農業推進会議では、11月の第4木曜日を「防風林の日」に制定し、気象災害に左右されない防災農業確立のため啓発活動を行っています。

防風林の働き

- ▲強風から農作物を守る
- ▲潮害や飛砂から農作物を守る
- ▲農地の土砂流出防止
- ▲農村地域の景観形成 等

防風林の効果

防風林の樹高(高さ)の10倍程度の距離まで、吹き付ける風を1/4程度に抑えることができます。



「防風林の日」植樹大会

地域活動の重要性

植樹してから、防風林としての効果を発揮するまでには、肥培管理や除草作業等、地域一体となった取り組みが必要です。

「防風林の日」植樹大会 開催場所

(平成18年～令和5年)



5 施設の管理と補強方法

(1) 事前のチェックポイント

園芸ハウスの台風対策に怠りはありませんか？台風対策は万全!! と思っても、確認の漏れから、思わぬ被害が起きてしまうことがあります。早い時期の台風にもあわてないように、下記のチェックリストに従って、いっしょに対策状況を確認しましょう。

チェックポイント① ハウスの耐風速を知っていますか？

H形鋼をメインフレームに使用した大型ハウス
(最大瞬間風速60m/sの風荷重に耐える設計)



低コスト耐候性ハウスは最大瞬間風速50m/sの風荷重に耐えるように設計されている。

チェックポイント② つっかえ棒を備えていますか？



写真のように、**つっかえ棒**を入れることで、妻面の傾斜を防ぐ効果があります。

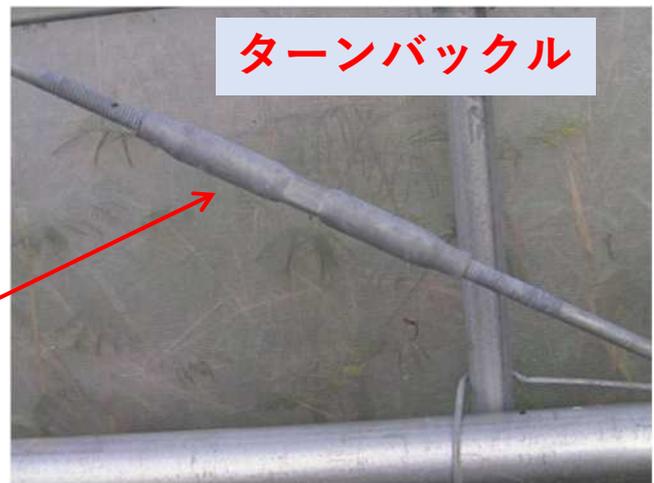
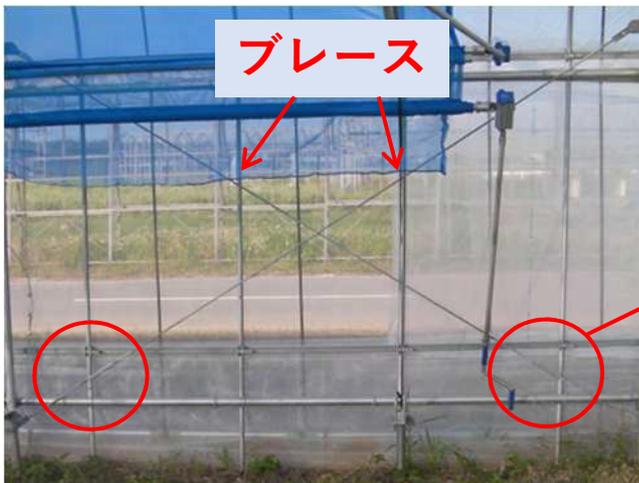
つっかえ棒は、支柱に固定しないと、土にめり込んでしまう…

チェックポイント③

方杖(ほうづえ)を備えていますか？



チェックポイント④ 各部の接合金具等に緩みはありませんか？



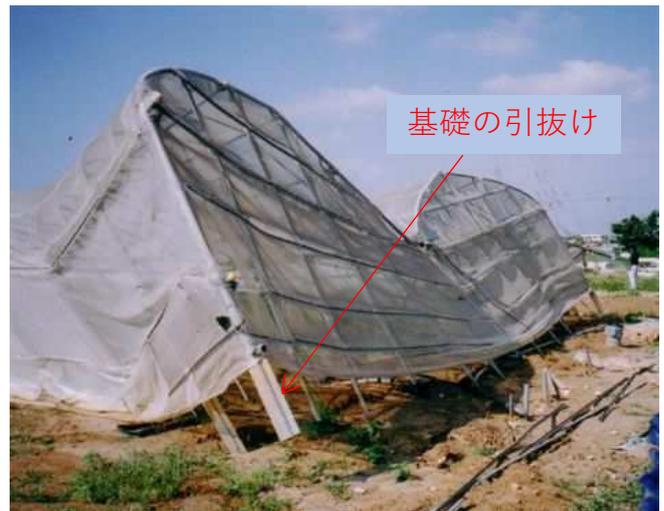
毎年1回程度はブレース(筋かい)の緩みを点検し、締め直しを行いましょう。



ボルト固定部にはワッシャー
(スプリングワッシャー)を忘れず
につけ、しっかり締めましょう!!

クランプから鋼管が抜けて屋根が落下

チェックポイント⑤ 基礎の埋設状況は？



チェックポイント⑥ フィルムの破損を防止するためには？



フィルムを巻き上げる



フィルムが飛ばないように、上から抑える

チェックポイント⑦ 大型ハウスは天窗の破損に注意!!



天窗の破壊(石垣市)

※天窗の破壊は、H型钢をメインフレームに使用したハウスに多く見られる。



天窗の破壊(豊見城市)

(2) 園芸施設の保守

保守管理は日常的に行うことが望ましいのですが、すべてを一度に行おうとすると多くの時間が必要になります。よって、台風シーズンに入るまでに、計画的に保守点検を行いましょう。

①-1 サビのチェック。

※水が溜まりやすい場所はサビやすいので注意！



谷どいのサビ(メッキの劣化)



地際のビニペット、パイプ類

①-2 サビの処理

サビの発生を確認したら速やかに除去し、さび止めを行いましょ。



使用する器具：①スクレーパー ②ワイヤーブラシ ③ペーパーディスク
④ディスクグラインダー ⑤カップブラシ ⑥保護メガネ ⑦さび止め塗料



作業はサビの程度が小さい順に ⑧スクレーパー ⑨ワイヤーブラシを用いて除去します。サビが大きくて厚い場合はディスクグラインダーに ⑩ペーパーディスクや ⑪カップブラシを装着し除去します。サビをきれいに取り除いた後は ⑫さび止め塗料を塗布します。

② 雨どい、谷どい及びハウス周辺の清掃

雨どいの枯葉やごみは水がたまる原因となり雨どいをサビさせてしまいます。特に連棟の谷どいは、日常監視しにくいことから、枯葉やごみがたまりやすく排水不良による腐食の要因となり、雨もりを生じさせることとなります。また、雨どい、谷どいの腐食は周辺のパイプ等のサビの要因となり、放置するとハウスの強度低下を招くことから注意が必要です。



湿気がたまりやすくサビが発生しやすい状況



被覆資材の処理が良い状況

ハウス周辺に放置された資材等はハウスの損傷要因にもなりますので常に清掃をしましょう。



ハウス周辺に放置された資材等



周辺が管理された状況

③ 被覆材(ビニール等)の保守

ビニールに破れが発生したら速やかに部分張替えを行いましょう。ビニールの破れに対する応急措置として、同種のビニールを用い 補修用テープで 補修しましょう。



補修用テープ



補修状況

(3) 施設の補強事例



トラス構造を用いたハウス(那覇市)



ハウス内につかえ棒を設置

スイカ用ハウス(今帰村)



ワイヤーによる引張補強(宮古島市)



旧農業試験場 ハウス破壊試験状況

ブレース(筋かい)による補強は効果抜群



ハウス内にワイヤーを引張することもハウスの補強に役立つ(南城市)



かんぬきは入り口の破損を防ぐ(南風原町)

(4) パイプハウスの台風対策

パイプハウスを強化し台風に耐えられるようにするには、「3 施設の補強事例」で示した方法の他に防風林の設置、一定間隔で太い鋼管へ変更する、防風ネットの設置などが考えられます。



防風林の設置(宮古島・石垣島)



防風ネットの設置(今帰仁村)

(5) 耐風性に優れた園芸施設等

No	施設名称	参考写真	特徴
①	大型鉄骨ハウス H形鋼ハウス		<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール被覆の状態ですべて瞬間風速60m/s程度まで耐える。 ・野菜、果樹を問わず多くの作物の栽培に利用できる。 ・周年高品質安定生産が可能。 ・耐用年数は14年。
②	角形鋼管ハウス		<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール被覆の状態ですべて瞬間風速40～50m/s程度まで耐える。 ・主にマンゴーなどの果樹栽培に利用されている。 ・周年高品質安定生産が可能。 ・耐用年数は14年。
③	強化型パイプハウス		<ul style="list-style-type: none"> ・全面ネット被覆により台風と季節風への防風効果が高い。 ・台風時はつる下ろしやネットによるべたがけが必要。 ・天井がフルオープン方式で温度管理が容易、雨除けが可能。 ・周年高品質安定生産が可能。 ・耐用年数は8年。 ・基本形:メインフレームφ42.7mm " φ48.6mm
④	強化型対応性園芸施設 気象災害対応型平張施設		<ul style="list-style-type: none"> ・全面ネット被覆により台風と季節風への防風効果が高い。 ・雨除けの効果は低い。 ・台風時はつる下ろしやネットによるべたがけが必要。 ・冬春時に保温を要しない品目は周年高品質安定生産が可能。 ・耐用年数は8年。 ・基本形:メインフレーム□75mm×45mm " φ42.7mm " φ48.6mm

No	施設名称	参考写真	特徴
⑤	耐候性コストハウス		<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール被覆の状態でも最大瞬間風速50m/sまで耐える。 ・天井がフルオープン方式で温度管理が容易である。 ・保温・耐風性に優れ、周年高品質安定生産が可能である。 ・鉄骨ハウスの7割以下の価格である。 ・耐用年数は8年。 ・備考：AETハウス
⑥	簡易平張施設		<ul style="list-style-type: none"> ・季節風に対する効果が高い。 ・耐風性や雨除けの効果は低い。 ・施設の設置・移動が容易である。 ・耐用年数は約5年。
⑦	【パタン9】 可変型園芸棚		<ul style="list-style-type: none"> ・台風被害を軽減する効果がある。 ・露地栽培で病害虫などの被害を受けやすい。 ・台風前後に棚の下ろし及び上げの作業が必要。 ・施設の設置・移動が容易である。 ・耐用年数は約5年。
⑧	施設内ネット被覆 (2重ネット)		<ul style="list-style-type: none"> ・アーチ型ハウス内にネットを張り、ネットを2重にして減風。 ・既存施設の耐台風性を高める有効な方法である。 ・巻き上げ器によるネットの展張が容易であり、台風準備に係る時間の短縮となる。
⑨	防風ネット		<ul style="list-style-type: none"> ・季節風に対する防風効果が高く、台風被害も軽減される。 ・施設の設置・移動が容易である。

6 施設整備（補助事業）

(1) 特定地域経営支援対策事業

① 事業目的

本土農業との格差是正及び沖縄農業の持続的な発展を図るため、農業経営の規模拡大や多角化・複合化等に取り組む際に必要となる生産施設・加工施設等の整備に対する支援を行う事により、意欲ある多様な経営体の育成・確保を目的としている。

◆整備内容

高生産性農業用機械施設、農畜産物集出荷貯蔵施設、産地形成促進施設ほか
(農林水産省経営局所管 国庫事業)

② 事業期間

平成23年度～令和13年度(予定)

③ 補助対象

市町村、農業者等の組織する団体(農業協同組合含む)等

④ 補助率

2/3以内

高生産性農業用機械施設(畜舎除く)及び農畜産物集出荷貯蔵施設は国・県併せて75%以内(令和5年度時点)

⑤ 採択要件

地区内で意欲ある農業経営体を5戸以上育成(受益戸数3戸以上)

⑥ 補助スキーム

市町村を介した間接補助事業(国⇔県⇔市町村⇔事業実施主体)

⑦ 整備実績

平張施設、温室等 約39.1ha (令和4年度末時点(見込値))



※詳しくは県園芸振興課ホームページをご確認ください。

(2) 沖縄型耐候性園芸施設整備事業

① 事業目的

本県は、台風等の気象災害による被害が多いことから、園芸産地における台風等自然災害の被害軽減を図る沖縄型耐候性園芸施設の整備を支援し、園芸戦略品目の安定生産を図る。また、台風通過後の潮害による施設の劣化が進みやすい状況にあることから、既存耐候性園芸施設の補強や改修の支援も併せて行うことで、施設本来の耐候性を維持させ、被害軽減につなげる。

※災害に強い栽培施設の整備事業(平成24年度～平成29年度)及び

災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業(平成30年～令和3年度)の後継事業

② 事業期間

事業期間:平成24年度～令和13年度

③ 補助対象

市町村、農業者等の組織する団体(農業協同組合含む)等

④ 補助率

8/10以内

⑤ 対象の施設等

強化型耐候性施設(強化型パイプハウス、平張施設)

※沖縄県の園芸戦略品目が対象、導入施設については農業共済等加入が必須

⑥ 採択要件・対象地域等

- ・受益農家3戸以上
- ・農業振興地域の農用区域内
- ・拠点産地もしくは産地協議会設置地域など

⑦ 補助スキーム

市町村を介した間接補助事業(国⇔県⇔市町村⇔事業実施主体)

⑧ 整備実績(前身事業含む)

強化型パイプハウス117.6ha 平張施設 67.2ha(令和4年度末時点(見込値))



※詳しくは県園芸振興課ホームページをご確認ください。

7 制度資金（農林漁業セーフティネット資金等）

自然災害で農業経営に被害を受けた方 への金融面からの支援



(1) 災害関連資金の借り入れ

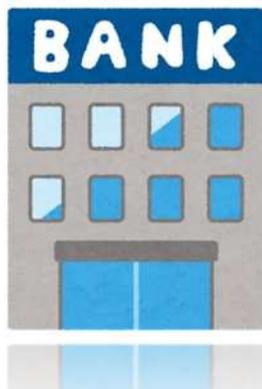
台風などで被害を受けた農業者が再建に必要な資金を低金利で借り入れできる融資制度があります。借り入れには、市町村発行の被災証明書等が必要な場合があります。詳細は融資機関にお問い合わせください。

（災害関連資金一覧は次頁のとおり）



(2) 既往債務（農業関係）の 返済条件等の緩和措置

既往債務について、一部返済の猶予や償還期限の延長等、返済条件の緩和措置を受けられる場合もありますので、まずは融資機関へご相談ください。



(3) 既往債務（農業関係）の 借換え融資制度について

沖縄公庫が融資する“経営体育成強化資金”やJA等が融資する“農業経営負担軽減支援資金”など低利で借換えが出来る負債整理資金があります。詳細は融資機関にご相談ください。



災害によって被害を受けた農業者が利用可能な主な制度資金

資金名	融資機関	対象者	資金使途	利率 (%)※	限度額	償還期限 (据置期間)
①農林漁業セーフティネット資金	沖縄振興開発金融公庫	主業農業者等	災害等を受けた農林漁業者の経営安定に必要な資金	0.45～0.85	600万円 又は年間経営費等の6/12	15年 (3年)
②農林漁業施設資金(災害復旧)	沖縄振興開発金融公庫	農業者等	農業用施設・農機具等復旧、果樹の改植・補植、農業協同組合等が所有する共同施設の復旧	0.45～1.00	負担額の80%又は1施設当たり300万円のいずれか低い額	15～25年 (3～10年)
③農業基盤整備資金(基盤の復旧)	沖縄振興開発金融公庫	農業者等	農地・牧野又はその保全・利用上必要な施設の復旧	0.45～1.00	借入者が当該年度に負担する額	25年 (10年)
④農林漁業経営資本強化資金(資本金ローン)	沖縄振興開発金融公庫	農業者等	農林漁業施設の取得等、災害等を受けた農林漁業者の経営安定に必要な資金	高:3.40～4.55 低:0.50	1億円またはみなし自己資本比率が40%に達するのに必要な額のいずれか低い額	18年 (8年)
		認定農業者				5年1ヶ月以上20年以内 (期限一括償還)

※金利は令和5年9月19日現在のものであり、ほぼ毎月変動します。
詳しくは県農政経済課ホームページ又は各融資機関にご確認ください。

災害によって被害を受けた農業者が利用可能な主な制度資金

資金名	融資機関	対象者	資金用途	利率 (%)※	限度額	償還期限 (据置期間)
⑤農業経営基盤強化資金 (スーパーL 資金)	沖縄振興 開発金融 公庫	認定農 業者	農地・牧 野・農業 用施設・ 農機具等 の復旧、 長期運転 資金	0.45 ～ 1.00	個人 3億円 法人 10億円	25年 (10年)
⑥経営体 育成強化 資金	沖縄振興 開発金融 公庫	主業農 業者等	農地・牧 野・農業 用施設・ 農機具等 の取得、 長期運転 資金	1.00	個人 1.5億円 法人 5億円	25年 (3～10年)
⑦農業近 代化資金	農協等	認定農 業者	農地・牧 野・農業 用施設・ 農機具等 の復旧、 長期運転 資金	0.45 ～ 0.85	個人1,800万円 法人 2億円	7～15年 (2～7年)
		主業農 業者等		1.00		

※金利は令和5年9月19日現在のものであり、ほぼ毎月変動します。
詳しくは県農政経済課ホームページ又は各融資機関にご確認ください。

8 農業共済制度・収入保険制度

農業者のみなさん！

リスクへ備えはできていますか？



農業経営には台風以外にもいろんな
リスクがあるんだよね…

自然災害で減収



市場価格が下落



災害で作付不能



病気で収穫不能



倉庫の浸水被害



取引先の倒産



盗難や運搬中の事故



為替変動で大損



農業保険

がサポートします!!



様々なリスクには

収入保険をおすすめ！

- 青色申告(簡易な方式を含む)を行っている農業者が対象です。
- 原則全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。(肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵除く)
- 補てん金の支払いが見込まれる場合は、保険期間中に**無利子のつなぎ融資**を受けることができます。

自然災害リスクには

農業共済をおすすめ！

- 全ての農業者が対象です。
- 米、さとうきび、農業用ハウスなどが、自然災害によって受ける損失を補償します。
- 農業用ハウスは、集団加入割引や掛金が安いタイプもあります。
- 家畜(牛、馬、豚)については、死亡などしてしまった場合の補償と、病気やケガの治療費を補填します。

農業保険は国の公的保険制度で、**保険料(掛金)の国庫補助**があります。

くわしくはお近くの**沖縄県農業共済組合(NOSAI沖縄)**へご相談ください。

北部 支所 0980-52-4082
中南部支所 098-945-3293
宮古 支所 0980-72-4724
八重山支所 0980-82-4780



農業保険

検索

Webサイトでは様々な情報を公開中！
<http://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/>

(2023.11)

園芸施設共済は

小損害不填補の選択で

掛金は安く 補償はしっかり!

安心のネットワーク
NOSAI 沖縄

ハウス共済が
加入しやす
くなりました!

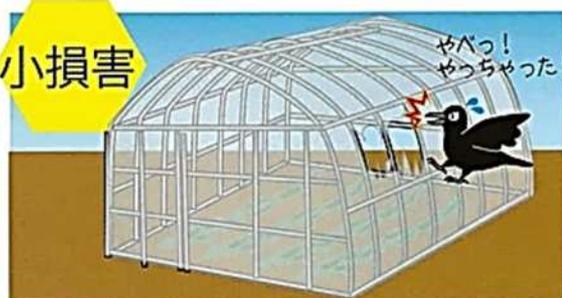


小さな被害でも補償を受けたい農家さんは

損害額 **1万円**~

を選択する事でビニール等に被害があつた時でも補償ができます。施設ごとで損害額が1万円を超えた場合が補償の対象となります。ただし、掛金は高くなります。

小損害



大きな被害の時だけ補償を受けたい農家さんは

損害額 **10万円**~

損害額 **20万円**~

損害額 **50万円**~

損害額 **100万円**~

を選ぶ事で掛金が安くなります。施設ごとに選択した損害額が補償の対象となりますので大きい被害の時だけに補償を限定すれば掛金も安く加入でき安心です。

倒壊



お問い合わせ先

備えの種をまこう。

沖縄県農業共済組合 本所	TEL (098)833-8132
沖縄県農業共済組合 北部支所	TEL (0980)52-4082
沖縄県農業共済組合 中南部支所	TEL (098)945-3293
沖縄県農業共済組合 宮古支所	TEL (0980)72-4724
沖縄県農業共済組合 八重山支所	TEL (0980)82-4780



(2023.11)

9 営農相談窓口等



暴風警報が発令される程の大きな台風等の気象災害発が発生した場合、県では営農相談窓口を設置します。

被災後の農作物の病害対策や肥培管理などの栽培技術相談の他、災害復旧に活用できる資金等の情報提供等を行っています。

(1) 沖縄県の営農に関する県の窓口

(相談内容例) 事前事後対策などの営農相談、資金相談等

- ・北部農林水産振興センター農業改良普及課 (TEL: 0980-52-2752)
- ・中部農業改良普及センター (TEL: 098-894-6521)
- ・南部農業改良普及センター (TEL: 098-889-3515)
- ・宮古農林水産振興センター農業改良普及課 (TEL: 0980-72-3149)
- ・八重山農林水産振興センター農業改良普及課 (TEL: 0980-82-3497)

2023. 11時点

※上記の他、市町村や所属する生産者団体においても独自に相談窓口の設置や支援等を実施する場合がありますので、市町村や所属する生産者団体に問い合わせてみるのも一つの方法です！



(2) その他問い合わせ先

① 資金に関するお問い合わせ

沖縄振興開発金融公庫

- ・本店 (TEL: 0120-956-318
098-941-1840)
- ・北部支店 (TEL: 0980-52-2338)
- ・中部支店 (TEL: 098-989-6511)
- ・宮古支店 (TEL: 0980-72-2446)
- ・八重山支店 (TEL: 0980-82-2701)

2023.11時点

② 農業保険制度に関するお問い合わせ

沖縄県農業共済組合(NOSAI沖縄)

- ・本所 (TEL: 098-833-8132)
- ・北部支所 (TEL: 0980-52-4082)
- ・中南部支所 (TEL: 098-945-3293)
- ・宮古支部 (TEL: 0980-72-4724)
- ・八重山支部 (TEL: 0980-82-4780)



2023.11時点

農作物等台風対策マニュアル

令和6年2月 発行

■編集・発行／沖縄県農林水産部

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

電話(098)866-2280 (事務局: 営農支援課)



農業保険制度情報
(NOSAI沖縄、農林水産省HP)



<https://nosai-okinawa.jp/>
<http://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/>

本冊子PDF版
(沖縄県HP)



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/sangyo/nogyo/index.html>

沖縄気象台
台風情報



<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/typhoon/information/index.html>